

「能登に学ぶ」

災害に備えた事業運営のための 事業継続力強化計画

はじめに

令和6年能登半島地震によって、私たちは「備えの真価」を問われました。企業にとって災害対策は顧客、協力企業、雇用、地域などを守ることです。そのためには日々のリスク管理が重要になります。今回、石川県庁様にご協力いただき、能登半島の被災地域でご尽力されている事業者の声を参考にし、企業の事業継続に繋げるための「能登に学ぶ」冊子を制作しました。地域でご活躍の支援機関におかれましては、企業の防災・減災に対する啓蒙活動を実施されているかと存じますが、その一助としてご利用いただけると幸いです。尚、本冊子の収益の一部は能登半島地震で被災された地域に募金をさせていただきます。

リーフレット内容イメージ



建物が無事でも事業は止まる。過去の災害は『他人事』ではありません。

過去 日本で起きた災害と事業への影響(教訓)



未来 今後想定される災害と対応すべきこと(備え)

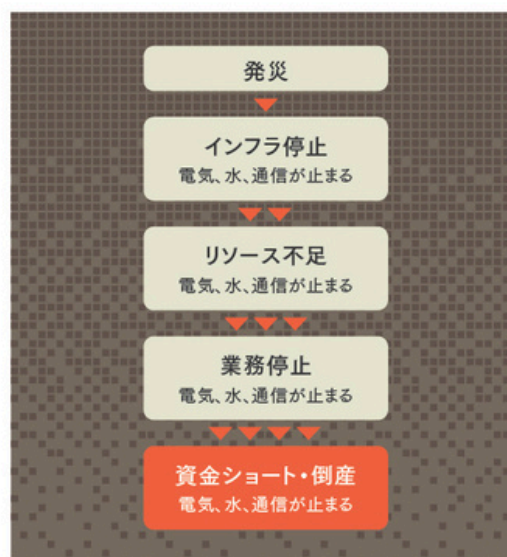


災害は「一瞬の被害」ではなく、事業停止の連鎖を引き起こす

災害が起きたとき、事業が止まる原因は必ずしも「建物の被害」だけではありません。電気や水などのインフラが止まり、従業員が出動できなくなり、設備や仕入が滞ることで、事業は段階的に停止していきます。この連鎖が始まると、影響は自社だけにとどまりません。取引先や顧客にも波及し、サプライチェーン全体や地域経済にまで広がる可能性があります。事業は自社だけで完結しているものではなく、多くの企業や地域との「つながり」の中で成り立っています。だからこそ、どこが弱点となり得るのかを理解し、災害時に何から備えるべきかを考えておくことが重要です。

POINT

1社の被災が連鎖廃業を引き起こし、
地域経済全体に深刻な影響を与えます。
事業は自社だけで完結していないのです。



能登の教訓：「復旧すれば元に戻る」という前提の崩壊

能登半島地震では、断水や道路寸断が長期化し、従来の想定が通用しませんでした。

断水は長期化し、道路は寸断され、人が戻らず、物流も回復しない。「復旧すれば元に戻る」という前提そのものが崩れたのです。「復旧を待つ」のではなく「復旧しない前提でどう動くか」という判断でした。

 激しく隆起し亀裂が入ったアスファルト



 大規模火災で焼失した輪島朝市周辺の跡地



 根元から倒壊し道路を塞ぐ7階建てビル



 激しい揺れで全壊した道路沿いの木造住宅



復興へ歩み…
海岸沿いに整然と立ち並ぶ仮設住宅群

POINT

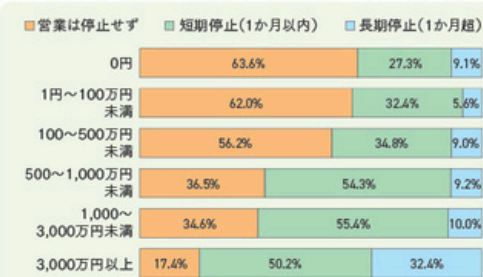
地域全体が多く被災しています。「復旧を待つ」のではなく「復旧しない前提で」どう動くか

時間が経つほど、問題は深刻化する

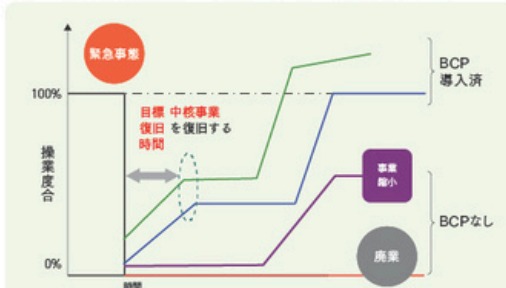
災害が発生した直後は、混乱や安否確認などの対応に追われます。しかし、時間が経つにつれて企業が直面する問題は次第に深刻化していきます。

資金繰りの悪化、設備の復旧、人手不足、取引先との関係維持など、事業継続に関わる課題が連鎖的に現れてくるのです。こうした問題は、災害の種類や地域が違っても多くの企業で共通して見られます。つまり、災害後に企業が困ることの多くは、実はあらかじめ想定できるものです。だからこそ、発災後に慌てて判断するのではなく、事前に対応方針を整理しておくことが重要になります。

図A 被災による物的損失額別に見た、当該事業所における営業停止期間



図B BCPの必要性 資料：中小企業庁「中小企業BCP(事業継続計画)ガイド」



図A 資料：三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)「中小企業の災害対応に関する調査」(2018年12月) (注)1. 過去に事業上の被災経験があり、物的損害を受けた者の回答を集計している。2. 物的損害額について、「1円～50万円未満」、「50～100万円未満」の項目を「1円～100万円未満」とし、「3,000～5,000万円未満」、「5,000万円～1億円未満」、「1億円超」の項目を「3,000万円以上」としている。なお、「分からない」の項目は除いて集計している。3. 営業停止期間について、「1日」、「2～3日」、「1週間以内」の項目を「1週間以内」とし、「1年以内」、「1年超」、「再開していない」の項目を「半年超」として集計している。

POINT

困ることは、実は毎回ほぼ同じ。事前に決めておけることが大半である。

備えていた会社は、連絡網や権限委譲、代替手段が決まっておき、早く動きました。
備えていなかった会社は、迷いと混乱の中で時間を失いました。

製造業	飲食・サービス業	観光業
<p>設備の保全、仕入れ先の確保など 計画の有無が代替生産の速さや調達網の維持に直結し、計画があるだけでここまで違うというほど、事業再開の明暗が分かれました。</p>	<p>仕入れ調達、設備復旧など 計画の有無がスタッフの安全確保や店舗復旧の判断に直結し、計画があるだけでここまで違うというほど、営業継続の明暗が分かれました。</p>	<p>地域・業種連携、情報発信など 計画の有無が旅行者の命を守る初動や広域連携による移動手段の確保に直結し、計画があるだけでここまで違うというほど、地域全体の信頼と復旧速度に差が出ました。</p>
<p>計画なし</p> <ul style="list-style-type: none"> × 機械が転倒 × 故障し、修理に数ヶ月 × 修理費が出せず、倒産の危機 × 取引先が他社へ流出 	<p>計画なし</p> <ul style="list-style-type: none"> × 冷蔵庫が止まり、食材がすべて廃棄 × 片付けに追われ、再開の目処が立たない × 常連客が離れ、スタッフも離職 	<p>計画なし</p> <ul style="list-style-type: none"> × 冷蔵庫が止まり、食材がすべて廃棄 × 片付けに追われ、再開の目処が立たない × 常連客が離れ、スタッフも離職
<p>計画あり</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ボルト固定済みで被害最小限。代替生産も確保 ○ 低利融資や共済で、すぐに資金調達 ○ 早期復旧で「さすが」と信頼アップ 	<p>計画あり</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ポータブル電源活用で廃棄を最小限に ○ 「テイクアウト限定」など早期再開ルールを適用 ○ 地域に食事提供。ファンが増える地域貢献 	<p>計画あり</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ポータブル電源活用で廃棄を最小限に ○ 「テイクアウト限定」など早期再開ルールを適用 ○ 地域に食事提供。ファンが増える地域貢献
<p>能登の教訓</p> <p>代替生産拠点&データバックアップ</p>	<p>能登の教訓</p> <p>ポータブル電源&テイクアウト等柔軟なルール</p>	<p>能登の教訓</p> <p>ポータブル電源&テイクアウト等柔軟なルール</p>

リーフレットとセミナーのご案内

「能登に学ぶ」リーフレット

▶構成：

A5横 16ページ

▶内容：

能登の教訓踏まえた事業継続力強化計画作成の手引き

事業継続力強化計画作成セミナーも承っております。

株式会社エイチ・エーエル

〒170-0012 東京都豊島区東池袋1-18-1 20階

Wework Hareza池袋

Tel : 050-8883-1919

Fax : 050-8883-1920

E-mail : keytas@hal-j.co.jp